



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

上場取引所 東

コード番号 7561 URL <http://www.hurxlev.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部長 (氏名) 西田 治司

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,015	△1.1	163	△23.6	271	△21.4	147	△39.8
28年3月期第1四半期	12,150	△0.3	214	△5.4	345	△11.8	244	△11.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 139百万円 (△51.4%) 28年3月期第1四半期 286百万円 (△5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.67	15.65
28年3月期第1四半期	24.44	24.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	37,427	19,003	50.7	2,023.61
28年3月期	36,852	19,097	51.8	2,033.80

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 18,988百万円 28年3月期 19,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,840	2.7	471	21.7	663	8.3	420	0.2	44.78
通期	51,160	5.0	1,166	28.8	1,559	12.3	1,104	△21.0	117.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	11,025,032 株	28年3月期	11,025,032 株
29年3月期1Q	1,641,373 株	28年3月期	1,641,373 株
29年3月期1Q	9,383,659 株	28年3月期1Q	9,984,047 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に、穏やかな回復基調で推移したものの、当社グループが属する「食」の分野では、デフレ懸念の継続と世界経済の停滞による消費マインドへの影響に加え、食材価格や人件費の上昇等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化するお客様のニーズにお応えすべく食材を厳選し、新商品の開発を行いました。また、「ほっかほっか亭40周年」を記念したキャンペーンを実施したほか、顧客満足度向上に繋げるための店舗従業員研修を進めてまいりました。

店舗委託事業では、優良物件の仕入、不採算店舗の解約や撤退等により、収益及び利益率の向上を進め、店舗管理事業では、安定収益の確保を図ってまいりました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の売上高120億15百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益1億63百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益2億71百万円（前年同期比21.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億47百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

お値打ち感のある低価格商品を毎月発売したほか、「おろしとり天弁当」や「おろしハンバーグ弁当」等の季節感のある商品を発売し、お客様に支持をいただいております。また、ほっかほっか亭1号店が誕生してから平成28年6月にて40年となることを記念したキャンペーンを実施し、更なるブランド訴求を行いました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高49億29百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益2億76百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、積極的な優良物件の仕入により収益基盤を強固にするとともに、引き続き稼働率および利益率の向上を図り、利益の極大化を目指しております。

この結果、店舗委託事業の売上高58億43百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益1億9百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、事業用物件の仲介業務に注力し、ビルオーナーの収益機会を支援することにより、ビル管理受託業務の契約数増加を図ってまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高1億76百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益1億1百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

④店舗直営事業

店舗直営事業においては、前期に導入した新たな販促媒体を活用し、来店客数に占める新規顧客比率を30%以上とするなど新規顧客獲得施策の成果が出ております。しかし、新たな定番メニューの魅力および価格見直しによる割安感の訴求を行ったものの、来店客数の増加には至りませんでした。

この結果、店舗直営事業の売上高3億25百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失6百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、熟練のパン職人たちが腕をふるい、手づくりの焼きたてパンを提供すると同時に、一部工程では機器導入による生産性の向上も実現しております。また、イートインスペースを設けた店舗では、居心地の良い空間を演出しております。

物流関連事業においては、全国を網羅する既存インフラをベースに、グループ外企業の物流業務等の新規獲得に向けて、積極的な営業活動を展開し、複数のスーパーマーケットで独自開発商品の取り扱いを実現し、売上の拡大を図っております。

この結果、その他の事業の売上高7億40百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益12百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億74百万円増加し、374億27百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が6億46百万円、敷金及び保証金が88百万円それぞれ増加しましたが、建物及び構築物が1億48百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ6億69百万円増加し、184億24百万円となりました。主な要因として、長期借入金が7億1百万円、未払消費税が63百万円、賞与引当金が72百万円それぞれ増加しましたが、買掛金が1億49百万円、未払金が60百万円それぞれ減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、四半期包括利益1億39百万円による増加がありましたが、剰余金の配当2億34百万円による減少があったことにより、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、190億3百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の51.8%から1.1ポイント減少し、50.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、連結子会社である北欧フードサービス㈱は、平成28年7月20日付でアルヘイム㈱に商号変更しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い（実務対応報告第32号、平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,779,951	6,426,753
受取手形及び売掛金	1,712,869	1,624,606
商品及び製品	517,738	554,674
原材料及び貯蔵品	141,124	125,882
繰延税金資産	273,028	278,559
その他	906,455	906,720
貸倒引当金	△34,452	△42,175
流動資産合計	9,296,716	9,875,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,539,745	6,391,075
機械装置及び運搬具(純額)	156,961	218,598
工具、器具及び備品(純額)	372,609	373,285
土地	11,953,176	11,943,379
リース資産(純額)	103,150	99,846
建設仮勘定	56,963	47,498
有形固定資産合計	19,182,605	19,073,682
無形固定資産		
のれん	103,219	94,566
その他	209,722	200,633
無形固定資産合計	312,941	295,199
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,307	1,707,059
長期貸付金	64,990	64,980
敷金及び保証金	5,539,110	5,627,507
繰延税金資産	293,179	299,369
長期未収入金	872,755	841,203
その他	446,615	473,344
貸倒引当金	△862,708	△829,972
投資その他の資産合計	8,060,249	8,183,491
固定資産合計	27,555,796	27,552,373
資産合計	36,852,513	37,427,395

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,240,948	2,091,113
短期借入金	1,203,240	1,186,533
1年内返済予定の長期借入金	960,700	1,010,692
未払金	1,015,035	954,985
未払法人税等	42,695	62,546
未払消費税等	72,882	136,446
賞与引当金	176,096	248,592
その他	1,742,961	1,684,575
流動負債合計	7,454,559	7,375,485
固定負債		
長期借入金	5,754,365	6,455,866
退職給付に係る負債	37,592	39,910
長期預り保証金	3,715,630	3,763,667
繰延税金負債	225,592	225,491
資産除去債務	384,827	374,717
その他	182,357	189,033
固定負債合計	10,300,365	11,048,686
負債合計	17,754,925	18,424,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,980,653	3,980,653
利益剰余金	13,218,887	13,131,114
自己株式	△2,306,479	△2,306,479
株主資本合計	18,929,711	18,841,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,733	146,939
その他の包括利益累計額合計	154,733	146,939
新株予約権	7,845	8,927
非支配株主持分	5,297	5,417
純資産合計	19,097,588	19,003,222
負債純資産合計	36,852,513	37,427,395

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）
売上高	12,150,666	12,015,931
売上原価	9,343,613	9,277,836
売上総利益	2,807,052	2,738,094
販売費及び一般管理費	2,592,968	2,574,488
営業利益	214,084	163,606
営業外収益		
受取利息	1,534	1,068
受取配当金	3,699	2,994
受取賃貸料	47,268	47,814
業務委託解約益	50,045	21,135
持分法による投資利益	6,428	10,567
その他	53,037	59,247
営業外収益合計	162,013	142,828
営業外費用		
支払利息	13,381	9,858
賃貸費用	8,716	9,833
業務委託解約損	561	1,608
その他	8,407	13,786
営業外費用合計	31,066	35,087
経常利益	345,030	271,348
特別利益		
固定資産売却益	6,856	1,379
受取補償金	80,000	12,000
その他	1,300	—
特別利益合計	88,156	13,379
特別損失		
固定資産除却損	548	74,533
固定資産売却損	289	3,852
減損損失	11,550	16,255
支払補償金	65,000	—
その他	21,944	—
特別損失合計	99,332	94,641
税金等調整前四半期純利益	333,854	190,085
法人税、住民税及び事業税	90,409	54,753
法人税等調整額	△1,361	△11,801
法人税等合計	89,048	42,952
四半期純利益	244,806	147,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	752	120
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,053	147,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	244,806	147,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,657	260
持分法適用会社に対する持分相当額	5,167	△8,055
その他の包括利益合計	41,825	△7,794
四半期包括利益	286,631	139,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,741	139,219
非支配株主に係る四半期包括利益	889	120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,218,569	5,844,401	150,197	356,819	11,569,987
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,212	3,033	—	—	58,246
計	5,273,781	5,847,434	150,197	356,819	11,628,233
セグメント利益	342,969	85,196	87,526	13,096	528,790

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	580,679	12,150,666	—	12,150,666
セグメント間の内部売上高又は 振替高	664,772	723,018	△723,018	—
計	1,245,451	12,873,685	△723,018	12,150,666
セグメント利益	20,540	549,330	△335,246	214,084

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△335,246千円には、セグメント間取引消去△4,761千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△330,484千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,929,226	5,843,973	176,873	325,280	11,275,353
セグメント間の内部売上高又は 振替高	107,810	—	—	—	107,810
計	5,037,036	5,843,973	176,873	325,280	11,383,163
セグメント利益又は損失（△）	276,587	109,399	101,716	△6,983	480,720

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	740,577	12,015,931	—	12,015,931
セグメント間の内部売上高又は 振替高	627,707	735,517	△735,517	—
計	1,368,284	12,751,448	△735,517	12,015,931
セグメント利益又は損失（△）	12,777	493,498	△329,891	163,606

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△329,891千円には、セグメント間取引消去△4,111千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△325,780千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。